

ヤマト運輸株式会社

協定の概要

- 協定締結日 令和3年11月30日
- 連携・協力事項
 1. 安全・安心な地域づくりに関すること。
 2. 地域の魅力発信に関すること。
 3. 観光支援・県産品の販売促進に関すること。
 4. 災害対策に関すること。
 5. 環境維持・保全に関すること。
 6. 地域福祉に関すること。
 7. 人材育成に関すること。
 8. 物流・人流の活性化に関すること。
 9. その他地域社会の活性化及び県民サービスの向上に関すること。

主な取組

■ 安心・安全な地域づくり

地域の見守り活動についてのステッカーの掲示

営業所や配送車へ「子ども見守り活動実施中」のステッカーを掲示いただき、地域の子どもの安心・安全の見守り活動に御協力いただいております。



■ 地域の魅力発信

県制150周年記念ロゴ入りの段ボール・伝票の作成

県制150周年の記念ロゴ入りの段ボール・伝票を作成いただき、県内のヤマト運輸直営店で販売していただきました（段ボール：令和4年2月～、伝票：令和4年3月～）。

全国へ配送される段ボールに150周年のロゴを使用いただくことで、全国へ宮城県の魅力を発信することができました。



■ 観光支援・県産品の販売促進

県産水産品を使用したメニューの社員食堂での提供

ALPS処理水（※）放出により輸出向け商材の需要減少等の影響を受けている県産水産物を支援するため、令和5年11月から毎月、「みやぎ水産の日」に合わせて、宮城主管支店内の社内食堂で県産水産品を使用したメニューの提供や食堂へののぼりの設置等による県産水産物の普及活動にご協力いただいております。



■ 環境維持・保全

不法投棄防止のステッカーの掲示

不法投棄防止強化月間である9月に、配送車へ不法投棄防止についてのステッカーの掲示の御協力をいただいております。



「みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 県民会議」への参画

「ヤマト運輸（株）新宮城主管支店」として「みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 県民会議」に参画いただいております。令和6年3月16日に開催された「令和5年度みやぎゼロカーボン大作戦」では、「クロネコヤマト環境教室」として、クイズを交えながら地球環境について解説していただきました。



また、公式Xにより本イベントの周知を行っていただいたほか、表彰制度「みやぎゼロカーボンアワード」の候補者募集に当たり、「ヤマトビジネスメンバーズ」のHPにおけるポップアップの掲出にも御協力いただきました。

このほか、環境配慮行動促進アプリ「eco チャレンジみやぎ」において、ポイントを獲得できるecoアクションとして「ネコピットを利用した送り状発行による紙使用量の削減」及び「PUDOステーションの利用による集荷の効率化・再配達抑制」を設定いただいております。

■ その他地域社会の活性化及び県民サービスの向上

ALPS 処理水放出に係る啓発活動への協力

ALPS 処理水（※）の海洋放出により県産水産品に風評影響が生じないように、理解醸成のため、上記の社員食堂での県内水産品のメニューの提供と併せて、国や東京電力などの関係機関が作成したリーフレットや冊子の配布、パネル等の掲示及び映像の放映に取り組んでいただいております。



また、本県内だけではなく、ほかの東北総括管内の支店・営業所のカウンターにおいても、来店者向けに、国作成のALPS 処理水の海洋放出に係る理解醸成のためのリーフレット等を設置いただいております。

※ 「ALPS 処理水」とは

東日本大震災後発生した東京電力福島第一原子力発電所事故が原因で同発電所の建屋内に存在している放射性物質で汚染された水について、多核種除去設備（通称「ALPS」）等により、トリチウム以外の放射性物質を国の安全基準を満たすまで浄化処理したもののこと。

処理水にはトリチウムが含まれており、国では、福島復興の大前提となる廃炉を進めるため、これを海水で大幅に希釈し、安全基準を十分に満たした上で海洋に放出する方針を決定。現在、この方針に基づき、東京電力では海洋放出を行っている。